

エビの陸上養殖 施設など見学

SPR工法協岐阜県分会

日本SPR工法協会東
海支部岐阜県分会（中淳
二会長）は8月20日、研
修事業の一環としてバナ
メイエビの陸上養殖施設
と付帯するバイオマス発
電施設の見学会を開催し

た。

現在、国内で流通して



養殖施設を見学

いるエビは90%以上（15
万8500トン）を輸入に
頼っており、国内自給率
を上げるために養殖事業
者複数社が共同で養殖事
業を立ち上げた。水質管
理などのセンサー技術部
門には国内大手メーカー
も参加している。

今回見学した瑞浪市内
にある養殖施設は月15ト
の出荷が可能。併設され

た木質バイオマス発電施
設は毎時280キロワットの発
電能力がある。電力は売
電し、廃熱を利用して養
殖に必要な水温を維持し
ている。

今回施設を案内した養
殖事業者の齊場直樹氏は
「世界規模で食糧の需要
が高まってきており、輸
入食品の値段も上がって
きたため、国内養殖でも
価格勝負できるようにな
った。輸入割合を80%に
するだけでも、このよう
な施設が最低100カ所
必要となる。建設関係の
皆さまにも協力いただき
たい」と述べた。

バナメイエビの陸上養
殖は今後、岐阜県東濃地
域から始まり東海地方、
全国へと展開する予定。